



安全・安心・住んで良かった・誇れるまち 八清

わがまちの自治会 会報 八清親和会 トピックス



会員の元気を 八清地域の元気に



令和4年 第 8号

発行責任者 八清親和会 会長 三田幾一 編集 副会長 吉田祐治
発行 令和4年9月30日

◆「令和5年度の昭島市自治会集会施設整備補助金」の申請を行いました。

9月2日締め切りの「令和5年度昭島市自治会集会施設整備補助金」申請を、テーマ「八清親和会集会所電気設備更新工事」で、八清親和会集会所「蛍光灯」9基（内玄関・小会議室兼台所を含む）を「直管型LED照明への交換工事ならびに、集会室に新たに2基増設する工事。総額309,650円で申請しました。

現在の蛍光灯・蛍光管はすでに製造中止となっており、蛍光管が切れても交換することができません。一昨年すでに2基が切れてしまい、「直管型LED照明に交換しましたが、今年度もすでに玄関内の蛍光灯1基（蛍光管2本付）の蛍光管1本が切れ、そのままになっています。今後も切れて行くため「直管型LED照明への交換が必要であるが、取り付け費を含め1基@25000円以上掛かり自治会予算だけでは負担が大きく、今回補助金を申請しました。来年度予算が通れば、総額の1/2の補助金が支給されます。市事務局に提出し受付が受理されました。令和5年度の昭島市予算通過、承認待ちとなります。

◆昭和中学校交差点にある、昭島消防署昭和出張所が東中神駅北側の新庁舎に移転。

10月16日に移転先の新社屋で落成式が行われます。第3ブロック長にも招待状が来ており、八清親和会会長が第3ブロック長を兼ねて出席します。

皆さんご存知ですか。今回移転する昭島消防署昭和出張所の歴史は古く、八清親和会設立（昭和24年）の1年前、戦後間もない昭和23年（1948年）2月に立川消防署の昭和町出張所として現在の、八清住宅地域の福島街道と江戸街道の交差点（現昭和中学校交差点）即ち八清親和会第6-2区に開設されました。当時は、まだ昭和町と拝島村であり、出張所の管轄区域は、昭和町であり、その後拝島村が加わりこの2町村が管轄範囲となりました。しかし管轄範囲が広いため、当時の火災発生の消火活動は、消防団（第一～第五消防団）が中心的役割を担っていました、開設時に建てられた建物の裏には、昔懐かしい火の見櫓と半鐘もありました。そして、昭和28年（1953年）に昭和町に119番回線が敷設され、翌昭和29年（1954年）5月に昭和町と拝島村が合併して市制施行、昭島市となり、昭和出張所が昭島出張所と改称されました。昭和41年（1966年）5月に現在の出張所の建物が落成しました。昭和59年（1984年）には、昭島市2つ目の大神出張所が開設され、平成10年（1998年）に昭島市松原町に昭島消防署本庁が開設され、これに伴い、昭島出張所を再び昭和出張所に改称し現在に至っています。このように74年という長い歴史を歩んできています。

移転前の昭和出張所

移転後の昭和出張所新社屋



◆10月22日(土)に八清子ども会の今年度第2回目の廃品(資源)回収が行われます。

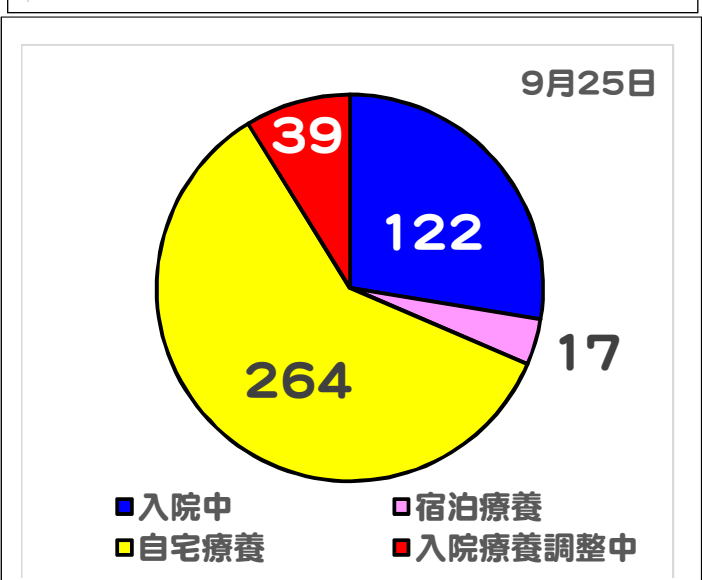
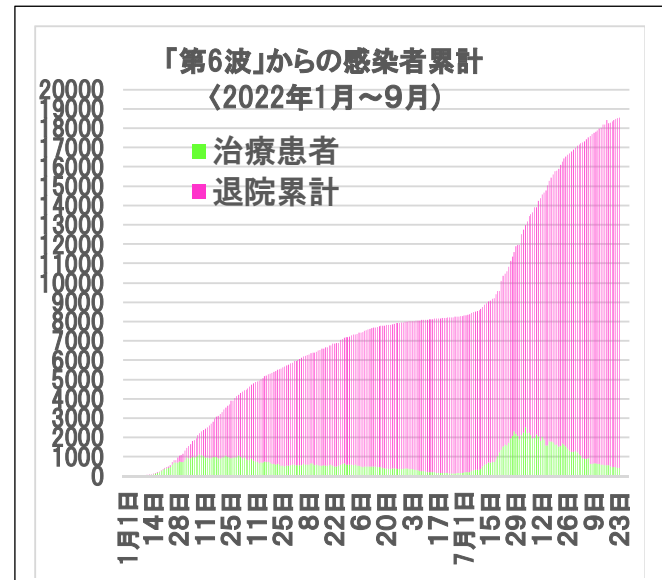
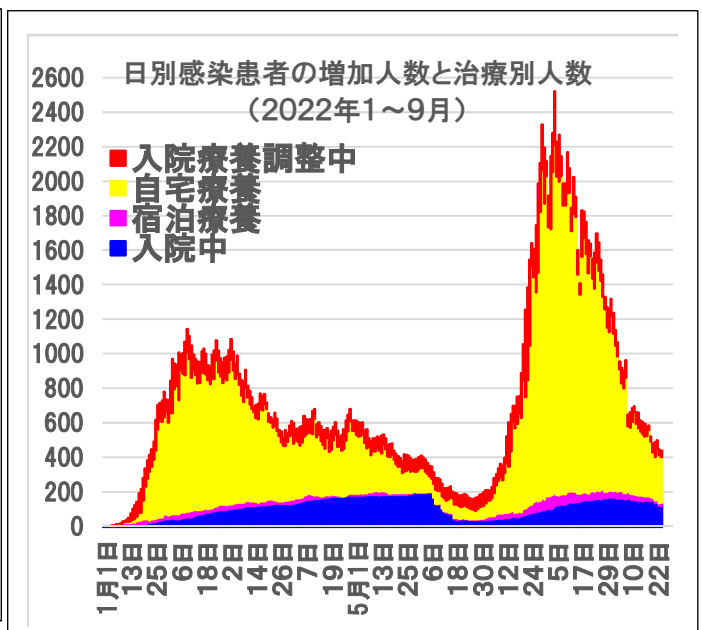
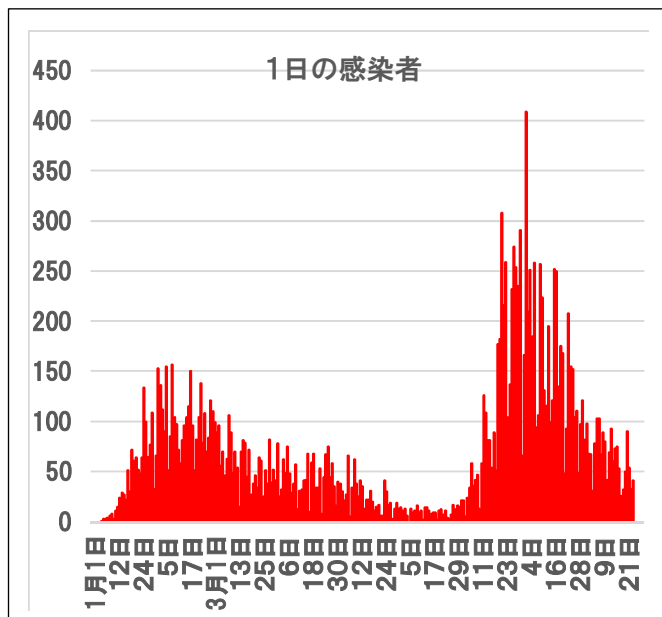
詳細は、別途八清子ども会から回覧があります。
 廃品(資源)の提供協力よろしくお願ひします。

◆令和4年度昭島市総合防災訓練は11月6日(日)に規模を縮小して、清泉・昭和中学校の2ヶ所で、同じ内容の分散実施となります。

昭和中学校会場は、昭和中学校避難所運営委員会(八清親和会・公団東中神自治会・都営玉川自治会・福島第一自治会)の委員を中心とした避難所開設運営体験訓練を午前9時から10時30分迄実施します。午前10時30分から11時30分までは、4つの自治会員ならびに、一般市民参加による救援輸送訓練見学、初期消火等の防災体験訓練を実施します。

昭島市の総合防災訓は毎年8月の最終日曜日、毎年小中学校の会場を変え実施され、令和元年度までの参加者は、1,000人強でしたが、オリンピックの関係で開催日を11月に変更、令和2年以降は新型コロナウイルス感染拡大により「密」を避けるため、規模を縮小して実施されました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の収束が見えないため、清泉中学校と昭和中学校の2か所で規模を縮小して実施されます。自治会員や一般市民の参加については、当日の見学体験訓練等の内容を、市防災課と協議し詰めています。詳細は、確定しだい会報、参加案内等でお知らせします。

◆昭島市の「第7波」の新型コロナウイルス感染拡大も、9月に入り要約収束してきました。



以上